

令和 8年度予算見積調書

課室名：農業支援課
担当名：経営体支援担当
内線：4055

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P53	農業機械利用総合対策推進事業			一般会計	農林水産業費	農業費	農業経営普及費	農業機械総合対策費		
事業期間	昭和62年度～	根拠法令	なし				針路 分野施策	12 1201	儲かる農林業の推進 農業の担い手育成と生産基盤の強化	SDGs目標 2 SDGsターゲット 2-3
1 事業概要 安定的かつ効率的な農業経営確立のためには、農業機械の安全利用や効率利用を推進する必要がある。 県内では毎年農作業事故が発生していることから、農業機械の安全な使用、及び効率的な利用の普及を図り、農作業事故のない労働環境と生産性の高い農業を確立する。 ア 農業機械利用総合対策推進等指導事業 483千円 イ 農業機械利用技能者養成推進事業 1,268千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 農業機械利用総合対策推進等指導事業 483千円 農作業事故の詳細調査、農作業安全啓発資料作成・周知 イ 農業機械利用技能者養成推進事業 1,268千円 農業機械利用技能者養成研修の開催(年2回、3日程) (2) 事業計画 農作業事故の実態調査・分析をもとに農作業安全を推進する。 また、農業機械の安全で効率的な利用に必要な知識・技能を習得した農業機械士、指導農業機械士を養成する。 ア 農作業安全推進活動 農作業事故の調査・分析を行うとともに、分析結果を元にした事故防止啓発活動を行う。 農機メーカーや生産者団体による農作業安全の啓発活動を推進する。 イ 農業機械士及び指導農業機械士の養成 農業者に対して研修を実施し、農業機械士及び指導農業機械士として認定することで、農業機械の安全かつ効率的な利用方法を身に付けた農業者の育成を図る。 農業機械士及び指導農業機械士の認定者による農作業安全の啓発活動を推進する。 (3) 事業効果 【活動指標(アウトプット)】 農業機械士及び指導農業機械士を養成122人 農作業安全に関する研修会2回 農機メーカーや生産者団体による農作業安全の取組実績18件 【成果指標(アウトカム)】 農作業による負傷および死亡事故件数(10年間平均比)30%減 農業機械士等や、農機メーカー、生産者団体による啓発活動の受益者数1420人						
2 事業主体及び負担区分 ア (国1/5・県4/5) イ (県1/5) 事業者4/5										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.5人=4,250千円										
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比	
		諸 収 入								
決定額	1,751	1,114						637	330	
前年額	1,421	1,114						307		

事業内訳書

事業名	農業機械利用総合対策推進事業		
単位事業名	農業機械利用総合対策推進等指導事業	予算額	483千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
諸収入・ 農業受託事業収入	100	0	試験研究受託事業収入 (国研)農業・食品産業技術総合研究機構から
一般財源	383	330	
合計	483	330	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	54	0	事故調査旅費
需用費	91	0	事故調査に係る消耗品・書籍購入費
役務費	8	0	事故調査に係る連絡調整費
負担金、補助及び交付金	330	330	生産者団体及び農機メーカーによる農作業安全啓発活動の推進費
合計	483	330	

単位事業名	農業機械利用技能者養成推進事業	予算額	1,268千円
-------	-----------------	-----	---------

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
諸収入・雑入	1,014	0	農業機械利用技能者養成研修受講料
一般財源	254	0	
合計	1,268	0	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	64	0	農業機械研修運営旅費
需用費	528	△27	研修に係る消耗品 研修トラクタ燃料費、研修トラクタ修繕費
役務費	676	27	研修に係る郵送料 研修講師派遣費、保険料
合計	1,268	0	